

科目名	教育の方法と技術 A, B	形態	講義	開講期	春・秋
担当教員	柴田 篤志	単位	2	年次	3

＝授業科目の目標＝

教師の主要な職務である、「授業」についての理論と方法について学びます。授業に関する基本的な考え方について知り、授業の設計の具体的な体術と指導の方法についての基礎を身につけます。ひいては教育技術の在り方に付いての理解を深めます。四年生で履修する教育実習に於いて、この講義の成果を生かすことが目標となります。

＝履修の条件と学習の方法＝

中学校・高等学校学習指導要領をメインテキストとします。授業内で該当箇所をプリントとして配布はしますが、特に受講前に予習をする場合、入手しておくことを勧めます。テキストとして必携のものはありませんが、随時参考文献は紹介いたします。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。教育課程とは。
- 2回 学習指導要領（中学校）1 総則
- 3回 学習指導要領（中学校）2 音楽（1）
- 4回 学習指導要領（中学校）3 音楽（2）
- 5回 学習指導要領（中学校）4 道徳
- 6回 学習指導要領（中学校）5 総合的な学習の時間、特別活動
- 7回 学習指導要領（小学校）1
- 8回 学習指導要領（小学校）2
- 9回 学習指導要領（高等学校）1
- 10回 学習指導要領（高等学校）2
- 11回 学習指導要領（高等学校）3
- 12回 授業モデル理論
- 13回 教授理論について
- 14回 学習指導案について1
- 15回 学習指導案について2

＝成績評価の方法と評価の基準＝

試験の代わりにレポートを課します。学習指導案を一題材分になります。レポートの提出がなければ単位は与えられません。なお、提出締め切りは授業の中で申し渡しますので、聞き逃さないように務めて下さい。

＝テキスト（必携）＝

授業で用いる資料は印刷して配付しますが、特に今年度は学習指導要領が改訂されるので、できれば個人で指導要領をもっていた方が役に立つと思います。特に教員採用試験合格を目指している学生は（必携ではありませんが）冊子の形で個人で所有することを勧めます。